

平成30年1月30日

熊本県立松橋支援学校図書館発行



冬休みがあけたと思ったら、もう2月。

まだまだ寒い毎日ですが、暦の上では、2月4日は【立春】。春の足音がきこえてくる頃とされています。

春になれば、『就職して働き出す人』、『進学し新しい場所で学ぶ人』、『進級して新しいクラスメイトや先生と過ごす人』など、みなさん“新しいこと”が始まる時ですね。今はまさに、その準備として、気持ちを高めていく時期ではないでしょうか。

図書館にある沢山の本は、きっとみなさんの気持ちを後押ししてくれるものとなるでしょう！今月もぜひ、図書館へ足を運んでくださいね♪



おしらせ

愛を語ろう♡おはなし会

2月14日（水）13：10～

場所：図書館



今回のおはなしは、バレンタインデーにちなみ、テーマは♡愛♡
文化図書委員有志が参加し、素敵なおはなしを披露します！

発表する生徒は初めての挑戦ですので、ちょっと緊張しちゃうかもしれませんが、温かい目で見守ってくださいね♡

☆本返却のお願い☆

現在、県立図書館と宇城中央図書館より本をお借りして、みなさんにたくさん読んでもらっています。その本の、返却期限が近づいてきました。以下の期限までに、返却するようにご協力よろしくお願ひします。

○**県立図書館の本→2月5日（金）まで**

○**宇城中央図書館の本→2月23日（金）まで**

「私流本の選び方」

高等部専門学科 職員

みなさんは本を読むときに何を基準に選びますか？話題になった作品？、好きなジャンルもの？、好きなストーリー？いろいろ選ぶ基準や好みの本は人それぞれあると思います。

では、私はというと・・・私は、本の装丁を見て選びます。装丁と言うと少し難しいかもしれませんが、簡単に言うと本の表紙の絵やタイトル等のデザインの事です。もちろん、話題になった作品で気になる物を選んで読むこともあります。何気なく本を読みたいな～と思ったとき、本の表紙の絵や、中の挿絵などをまず見て、綺麗な絵だったり、なんとなく絵から本のストーリーが想像できそうなものを手に取って読むことが好きです。

なぜかという、もともと私はあまり本を読む方ではありません。読みたいと思うことはあるのですが、読んでいるとすぐにウトウト・・・と、眠たくなってしまいます。そんな私なので、どんな本を読めばいいのかいつも迷ってしまいます。そんな時、何気なく書店に行って、ふらふらと店内を見て回っていると、ある一冊の本が私の目を引きました。それは、吉本ばななさんの「TUGUMI」という本です。この本の表紙には綺麗な色使いで鳥が2羽描かれていて、すぐに心をひかれ読みたいと思い購入しました。読んでみると、この本の主人公であるつぐみと少年恭一が、表紙に描かれている2羽の綺麗な鳥と重なり、ストーリーの中に引き込まれました。何気なく表紙を見て選んだ本でしたが、あっという間に読み終えてしまいました。

この時のストーリーに出てくる登場人物と本の絵やデザインがぴったりマッチしていた時のすっきり感が気持ちよく、この本をきっかけに、私は本を読むことや本の装丁（デザイン）を見ることがとても好きになりました。本のデザインとストーリーを頭の中で思い描きながら読み進めていくと、より楽しく、わくわくした気持ちで本を読むことができるのではないのでしょうか。

今はあまり本を読まない人や、興味を持っていない人も、私のように素敵な表紙やデザインをきっかけにして本に興味をもってもらえたらと思います。あなたの心に残る一冊が見つかるかもしれませんよ。

◆あなたを後押しする1冊◆



『アスリートの夢』
26人のアスリート×キム

夢に向かって生きることの素晴らしさが詰まった本。アスリートの言葉に、“自分も頑張ろう”と励まされます



『しぐさのマナーとコツ』井垣利英

マナーを身につけると、人に与える印象が良くなります。素敵な人になるために一